名護学院

発　行　社会福祉法人 名護学院
発行人　崎 濱　秀 政
沖縄県名護市為又 1015－1
ＴＥＬ(0980) 52－2277
ＦＡＸ(0980) 52－6644

生年祝

支援施設 里

ライフサポート ひだまり

支援施設 郷

支援施設 睦

支援施設 本部海陽園

新成人紹介

郷	田場（たば） 裕之（ひろゆき）	大人の仲間入り！！　楽しく過ごしたいです。
郷	古堅（ふるげん） 千尋（ちひろ）	大人の女性として、色々と自立したいです。
名護わかば園	高江洲（たかえす） 大智（だいち）	郷での活動に参加していますが、20 歳になったら自ら進んで仕事を頑張れる大人になりたいです。
か ふ う	宮城（みやぎ） 聖也（せいや）	仕事も頑張り一人で買い物へいけるようになり宮古島で釣りをするのが楽しみです。又、パソコンも学びたいです。
とらいあんぐる	高良（たから） 託登（たくと）	お金をもらえるように仕事をがんばる。
とらいあんぐる	上原（うえはら） 紳助（しんすけ）	お中元・お歳暮の営業がんばりたいです。
ゆいとぴあ	奥野（おくの） 優里（ゆり）	パン工房に所属しています。パン製造で成型作業を上手になりたいです。
ゆいとぴあ	渡久地（とぐち） 真帆（まほ）	アパート清掃やパン工房で頑張っています。特に頑張りたい事はパンの袋詰め作業です。

おめでとうございます！

鉢　嶺　克　治　水　彩　画　展

～口で描く水彩画・筆先に感謝を込めて～

２月１日（木）～４日（日）までの４日間、浦添市美術館にて『鉢嶺克治水彩画展～口で描く水彩画・筆先に感謝を込めて～』を開催しました。たくさんの方々に来場して頂き、大盛況のうちに終えることができました。これも偏に、ご協力いただいた皆様のおかげです。実行委員一同感謝申し上げます。

引き続き、「鉢嶺克治水彩画集」も販売しておりますので、ご購入希望の方はとらいあんぐるまでお問合せ、宜しくお願い致します。

オープニングセレモニーテープカット

鉢嶺克治あいさつ

個展風景

※問い合わせ　生活介護支援事業所とらいあんぐる　TEL 0980-58-1258

とらいあんぐる　施設整備

名護市我部祖河に新しく、とらいあんぐるが建設されました。
身体に障害がある方々が利用しやすい環境を提供したく、すべての部屋や入口、廊下など大きく設計し、車いすの方でも気兼ねなく利用できるようにしています。

入浴はリラックスして入ってもらう為に、湯船を設置し窓を大きくとっています。寒い日は、浴室や脱衣所に暖房も設置しています。

全トイレにウォシュレットを装備し、車いすの方でも広々と使えるようにしています。
オストメイトもあるので安心してご利用できます。

リハビリ室や活動する部屋、静養室もあります。

また、４月から今まで通り生活介護支援事業も行いますが、新しく喀痰吸引や胃ろう、呼吸器など医療的ケアが必要な子供たちの活動する場、児童発達支援事業と放課後等デイサービスの事業も行っていきます。
ぜひ、時間がありましたら見学にいらしてください。

〒905-1155　名護市我部祖河１２０５−３

―GH 宇茂佐の森市営住宅に入居―　ライフサポートひだまり

この度ライフサポートひだまりの新ホームとして12 月１日から名護市の宇茂佐の森市営住宅に2 戸８人が入居しました。市営住宅の中にグループホーム仕様（バリアフリー・スプリンクラー等）の部屋が在るというのは、安心していつまでも地域の中で自分らしく暮らし続けたいというご利用者様には、いい住宅になりました。

現在ひだまりは名護市内22 ヶ所のホームに106 名の方が入居されています。グループホームは少人数での共同生活ではあるが、その暮らし方は一人ひとり皆違います。個別性や主体性を尊重し、その人らしい暮らしができるように地域との繋がりをもって応援していきます。

建物外観

ホーム内観

ライフサポート緑・グループホーム施設整備計画

グループホーム施設整備に向け、昨年７月に提出していた施設整備計画書補助金申請が、平成 29 年度補正予算で決定いたしました。

今後施設整備の流れ（目安）として、１ 月初旬：書類等準備、２ 月頃：申請書類の作成、３ 月頃：交付決定等、４ 月頃：入札・建築工事実施となっています。

グループホームの高齢化・重度化に伴い、施設整備も重度対応型のグループホームの手だての一つであると考えています。今後、利用者ニーズの変化による重度化や医療的ケア対応等も含め、利用者が安心安全に地域生活が送れる環境作りしていきたいと考えています。

「障害者支援施設　郷」

社会福祉法人名護学院は、昭和 52 年名護市に北部で初めての更生施設（定員 100 名）を設立。平成 25 年８月には、施設移転に伴い施設を三分割。住みやすさを求め、利用者編成を実施することとなり、若年型施設として「障害者支援施設　郷」（定員 40 名）が開所しました。施設の支援方針は、「その人らしく豊かに暮らす」を実現するとともに、法人理念「利用者の尊厳の保持（権利擁護）」を基本とし、施設入所支援・短期入所・生活介護に併せ、地域における公益的活動として平成 28 年４月緊急的共同住居・自立支援対策事業「自立準備ホーム」を開始する。様々なニーズ（緊急保護等）に迅速に対応できる「地域に必要とされる施設」を目指し、運営に取り組んでいます。

また、当施設は、「強度行動障害」をはじめとする他の施設では対応が困難な利用者を受入れ、個々人の状況に合わせた生活環境を整えるなど、質の高いサービスを提供するとともに、地域生活移行の実現に繋げられるように、職員一同どのような方に対しても粘り強い支援を継続し、利用者一人ひとりの個性を尊重したきめ細かな支援に取り組んでいます。

今後も、住みやすい街づくりへの貢献として、地域の架け橋となる施設でありたいと考えております。

県内旅行

施設秋まつり

Kids Library（キッズライブラリー）

平成 26 年 12 月に設立し法人本部２Ｆにて活動開始、平成 28 年４月より学院敷地内にログハウスを建築し現在に至っております。支援スタッフはいろんな職種を体験した経験豊かなナイスシルバー（オジイ達）とナイスレディーの７名です。

キッズライブラリーでは各市町村の小中学校・教育委員会・県立高校・名桜大学との連携を通し小学生から高校生までの児童を対象に「学習支援」「農場体験」「工房体験」など独自のプログラムによる体験学習と校外学習を活用し、生徒達の復学支援を行っています。

＜キッズライブラリーの歩み＞

（一期）平成 27 年４月～平成 28 年３月（サマースクール開催）
高校受験生徒６名全員合格　　復学生徒　　４名

（二期）平成28年4月～平成29年3月（スプリング･サマースクールキャンプ開催）
高校受験生徒７名全員合格　　復学生徒　　８名

（三期）平成29年4月～現在（スプリング･サマースクールキャンプ開催）
高校受験生徒５名　　復学生徒　　６名
平成 30 年１月現在　在籍生徒数 20 名　　常時７～８名利用

学習支援 担当　**嘉数 ロイ**

キッズライブラリーの総括を担当させていただいております。英語、ウチナーグチ、ヤマトグチ、を使った学習支援をしています。近い将来キッズライブラリーから国際人として旅立つ生徒を夢見ています。

学習支援 担当　**花城 美香子**

10月からキッズライブラリーの支援員として加わりました。得意のスポーツを活かし、生徒達が心身共に成長できるようサポートしていきます。

総合相談 担当　**又吉 直子**

名護学院総合相談として、キッズライブラリーの相談を担当させていただいております。無限大の可能性を持つ生徒の夢実現へ向けた相談を行っております。生徒とナイスシルバー&レディーと共に日々成長中!

陶芸 担当　**岡田 恒彦**

最年長でまだまだ発展途上のジイです。陶芸を通し陶芸品の美と感性の豊かさを生徒と一緒に追求しております。

陶芸 担当　**金城 清隆**

前職消防隊の経験を活かし生徒達への安全指導や緊急対応などを伝授しております。また趣味の陶芸を生徒達と一緒に楽しんでいます。

農場・工房 担当　**日高 郁雄**

ウチナーグチと沖縄文化を取り入れた農場体験や木工作を通して創作力の向上と完成後の達成感を生徒達と共感しています。

農場 担当　**上間 久男**

野菜の種まきから植え付け･収穫（調理）流通と、草花の種まき･植え付け･開花までの体験を理科や算数、社会などの学習の機会としております。生徒達から学ぶことも多くあり、お互いに成長していければと思っています。

クリニック和睦

沖縄県名護市字名護 4558-48
Tel 0980-43-0418　Fax 0980-43-0417

スタッフ紹介

看護師　玉城 綾乃

温かく恵まれた環境と協力し合えるスタッフに感謝しています。多職種によるチームで協力し合い、常に患者さんや利用者様の気持ちを考慮できるより良い看護を目指します。今後も自身の自己研鑽を意識して業務を行っていきたいです。

第６回　実践事例研究発表会

平成２９年９月２４日に名護市役所久志支所にて、第６回実践事例研究発表会が執り行われました。名護学院では、「～小さな積み重ねが大きな結果を生み出す～」をテーマに、今回は入所系の８事業所による発表を行いました。

法人職員、外部の方を合わせ、172 名の参加がありました。

常務あいさつ

会場風景

発表の様子

介護福祉士実務者研修終了

平成 29 年６月 17 日から開講致しました介護福祉士実務者研修が平成 29 年 11 月 25 日をもって終了致しました。受講生 18 名全員が終了試験に合格し、終了式を終えています。平成 30 年１月 28 日に介護福祉士国家試験が行われ、3 月末に合格発表の運びとなります。全員合格に向けて暖かく見守っていきたいと思います。

受講生の事業所内訳			
障害者支援施設 郷	３名	さざなみ	１名
障害者支援施設 睦	３名	ライフサポート縁	３名
障害者支援施設 里	３名	ライフサポートひだまり	２名
本部海陽園	２名	とらいあんぐる	１名
計			18 名

勤続 10 年以上職員研修

平成 30 年１月 30 日に、法人敷地内交流会館和にて参加者 68 名の職員研修が行われました。法人名護学院では、経験年数ごとに階層別研修を行っており、今回は勤続 10 年以上職員対象の研修でした。研修内容として、法人理念の再確認や、グループワーク等で日々の業務を考えなおす良い機会になったと思います。

理事長　講義

研修風景

デイサービス　二見の里 20 周年

　このたびは、創立２０周年記念式典ならびに秋祭りにご臨席いただき誠にありがとうございました。ご来賓の皆様より温かいご祝辞の言葉を頂き、式典ならびに秋祭りが盛大に開催出来たことに職員一同心から感謝いたしております。

　２０周年という節目の年を迎え、これからも職員一丸となって、気持も新たに邁進したいと思いますので、なにとぞご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

　最後に、本式典ならびに祝賀会にご参加いただきました皆様方、並びに余興や、ボランティアとしてご協力いただきました皆様方に心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

常務あいさつ

会場風景

100歳･97歳･88歳･85歳祝い者の皆様

カジマヤー　　祝 100 歳

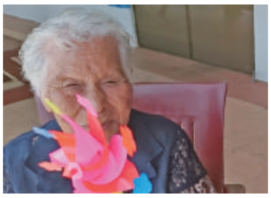
あかがーら

　あかがーらにお住まいの仲地文子さん、今年 100歳を迎えられました。本部町崎本部出身で、早くにご主人を亡くし、女手ひとつで子育てを頑張ってこられました。現在車椅子を使用していますが、日常生活はほぼ、自立されています。食事も､好き嫌いはなく､毎食ほぼ完食されています。

　100歳のお祝いに内閣総理大臣からの賞状と、本部町からの賞状を手に文子さんにっこりです。銀杯を手にうれしそうです。

二見の里

宮城ヨシさん
出来る事はがんばっています。


安仁屋鶴枝さん
畑仕事を頑張っています。

長田キヨさん
読書や踊りが好きです。

ヘルパーステーションふたみ

比嘉サダさん
笑顔が素敵で癒されています。

さざなみ

玉城フミさん
お金よりも学問を重視しなさい。

我如古良子さん
他人への思いやりを大切に。

おめでとうございます！

退職者紹介

39 年を振り返り後輩に伝えたいこと　名護わかば園　稲嶺のり子

初めに勤めさせて頂いたのは当時の更生二課でした。全員が若く、園芸、農業、畜産、陶芸、結び織り等の作業活動を泣き笑いしながら共に働いた事が思い出されます。ご利用者の笑顔、保護者との交流、諸先輩方の導きのお陰で生き生きと続けられております。ここ４年間は、児童施設の子ども達との関わり、様々な課題に直面しながらも成長過程に感動の日々です。後輩諸君にお伝えしたいのは、思春期の多感な時期の子ども達に向き合う事は容易ではありませんが、法人理念を忘れず個々の自立の芽を信じ、諦めない支援を続け、共に学ぶ姿勢で進んで欲しいと願っております。

定年退職を目前に思う　指定障害者支援施設　里　西平さと子

待ち望んだ退職の日、もう目の前だ。昭和五三年四月、社会福祉法人名護学院 更生三課に入職。以来四十年の歳月を、利用者、職員、保護者と共に過ごしてきた。時に躓き、後ろ向きな気持ちになる事も多く有った。そんな時、共に汗を流した職員の一言に励まされ、背中を押された日々。最大の味方は家族だった。俯いている私に子等は容赦せず要求を浴びせて来る。立ち止まっている時間は無いという事を気づかせ、前を向かせてくれた。家族の支えと理解という礎の基、時には家事を疎かにし、教育を学校任せにし、好き勝手に仕事に没頭してきた。家族と支えてくれた同僚に感謝の意を伝えたい。

さて、入職仕立ての頃は、利用者様の居住建物以外の作業場やフェンス、居室の模様替え等、そのほとんどが職員の手作りだった。利用者に不利益にならないようにするにはどうしたら良いかを常に話し合った。利用者一人ひとりの支援に全職員が一丸となって意見をぶつけ合い、実践していた。泣き、笑いを共にして来た仲間。難儀な事も数知れず。それでも、保護者の皆さんと他愛のない話で盛り上がり、研修へも一緒に参加したり、行事への協力も計り知れないほど頂いた。実に懐かしい限りである。あの頃を知る職員はもう少ない。

これからの職員の皆様には、利用者への「安心」「安全」「豊かな生活」を念頭に仕事に責任と義務を果たせるよう尽力していただきたい。法人には、現場の職員の士気が高められる保障の確保に尽力願いたい。

無くしてはならないもの、それは、自分の仕事に対する誇りと、それに似合うべき自信と知識を養う事。無くしてほしいもの、それは、他力本願的思考。それこそ、自分で考え、チームで共有し実践展開するという基本に相反する事である。他力本願とは何か。自分はどうなのか。我が身を振り返り、事の良し悪し、行動の良し悪しに気づく人間であって欲しいし、ありたい。

指定障害者支援施設　睦　与那原　るみ子

立春の候。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、私こと　平成 30 年３月をもちまして定年を迎える事となり、ひとかたならぬお世話になり厚く御礼申し上げます。

39 年余の在職期間中、幾度となく立ち止まり自身を見つめ直したこともありましたが、先輩・同僚と多くの方々に支えられ学びと成長の機会を頂きました。また、沖縄県知的障害者福祉協会、沖縄県心身障害者施設協議会の副会長を務める事となり、更に多くの方々と出会い、その絆が私の財産となりました。　皆様に於かれましてもより多くの方々と出会い、社会福祉法人名護学院の職員として誇りをもってこれからの歴史を築いて頂きたいと思います。

最後に、社会人人生かけがえのない時を過ごせたことは皆様のご厚情の賜と深く感謝しお礼を申し上げます。

ライフサポートひだまり　大城　環

平成二年に入職し、二十八年を経て三月で定年を迎える事となりました。一緒に旅行に出かけたり、様々な行事にも参加させて頂きお陰様で楽しく仕事する事が出来ました。支援員ではない私と親しくして頂いた利用者さん職員の皆様お世話になり有難うございました。

人は皆、各々違うリュックサックを背負っているといいます。その中身を知る為に利用者さんに寄り添い話を傾聴し日々、楽しく過ごす事が出来る様に支援をして頂きたいと思います。末筆になりましたが、利用者さん職員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

今思う事、伝えたい事　ライフサポート縁　岸本直子

「人に関わる仕事がしたい。」と飛び込んで名護学院にお世話になり、早くもこの3月には定年を迎えます。

今改めて思う事は、この仕事に就かせていただいて、本当によかった。仕事を通して出会った利用者の皆様、保護者の皆様、職場の上司や同僚の皆様には、多くのご指導、激励を賜りました。ここまで、私なりに何とかやって来れたのも、皆様との出会いのおかげです。心より感謝申し上げます。

入職から 31 年。苦しかった事、悲しかった事、嬉しかった事が思い起こされます。

そして、皆様お一人おひとりの笑顔が、心に刻まれています。笑顔は、人と人を結び付けてくれる最高の方法ではないでしょうか。

結びに、皆様が健やかで幸多く、笑顔あふれる職場を目指し、尚一層のご活躍をされますことを、心よりお祈り申し上げます。

在宅支援センター　ゆいとぴあ

パン工房

菓子パン1個100円!!

●**生クリーム食パン**
300円　火・木曜日
●**角食パン**
250円　水・金曜日

添加物などは一切使用していません！！
営業時間中は店頭販売を行っております。
※売り切れ次第終了となります。

第1位

生クリーム食パン

第2位

メロンパン

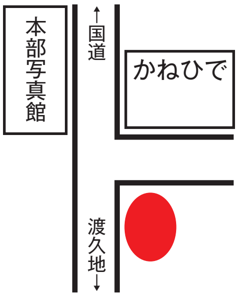
第3位

クリームパン

製造風景

製造風景

本部町大浜885-1（かねひで隣り）
電話　４７－５３５５
FAX ４２－５３５４
営業日：月～金（土・日・祝休み）
営業時間：11:00～16:00



編　集　後　記

　今年度、２刊目となる社会福祉法人名護学院「広報誌」は如何でしたか？
この国において、福祉の制度も在り方も「変革」する時代に突入しています。しかしながら、「人が人を支える」という概念はいつの世も変わらないのでは…と常々感じているこの頃です。介護や支援を必要とする人の自立や社会参加を応援することはもちろんですが、自立や社会参加のために介護や支援があるのだという事を理解し、法人職員の一人ひとりが職務に邁進できればと考えております。この「広報誌」においても、ご利用者様のご活躍や、自立に向けた取り組みを、保護者の皆様や、各関係者、または地域の皆様に理解してもらえれば嬉しく思います。
　結びになりますが、「当たり前の暮らし」とは「福祉が福祉でなくなること」なのかな…と考えながら広報誌の作成に携わってまいりました。最後までご拝読下さいまして心より感謝申し上げます。いっぺーにふぇーでびる。

K.Y
T.F